

## 創薬オープンイノベーションネットワークの構築

東京大学創薬オープンイノベーションセンター 岡部 隆義

アカデミア創薬という言葉が最近よく耳にする。海外では“Academic Drug Discovery”と冠したシンポジウムやセミナーが各所で開かれている。近年アカデミア創薬が取り沙汰されているのは、研究開発において一企業内の「クローズドシステム」から外部の知を取り入れる「オープンイノベーション」への潮流変化に拠るところが大きい。製薬企業において新薬創出はますますリスクが高く、困難なものになっている。自社だけで考えていてもアイデアのタネは限られるので、外部の知、アカデミアを活用しようという訳である。従来、アカデミアの関与は、企業-アカデミア間で創薬の標的となる候補分子の抽出とその妥当性の検証に重きを置いた共同研究が主たるものであった。しかし、近年アカデミアが主体となって標的候補分子の活性を実際に制御する化合物の同定、最適化、その化合物を用いて標的候補分子の検証を行う方向へ関与の拡大を見せている。

本講演では最近のアカデミア創薬の状況に関し海外を含め概説し、合わせて我々の取り組みを紹介する。

### 参考文献

- Tsuganezawa, K. et al.: A Novel Pim-1 Kinase Inhibitor Targeting Residues That Bind the Substrate Peptide. *J. Mol. Biol.* 417(3), 240-252 (2012).
- Nakano, H. et al.: Rational evolution of a novel type of potent and selective Proviral Integration site in Moloney murine leukemia kinase 1 (PIM1) inhibitor from a screening-hit compound. *J. Med. Chem.*, 55 (11), 5151-5164 (2012).
- 岡部隆義: アカデミアにおける創薬. *感染・炎症・免疫* 42, 48-57 (2012).

### 略歴

- 1981年 東京大学薬学部薬学科 卒業
- 1983年 東京大学薬学系大学院生命薬学専門課程(修士) 修了
- 1983年 万有製薬(株)入社
- 1987年 薬学博士号取得 (東京大学)
- 1995年 万有製薬(株)つくば研究所 探索評価研究室長
- 2004年 万有製薬(株)つくば研究所 専門領域研究部長
- 2007年 東京大学生物機能制御化合物ライブラリー機構 特任教授
- 2011年 東京大学創薬オープンイノベーションセンター 特任教授

